

2021 年度第 21 回理事会 議事要旨

- 1 開催日時 令和 4 年 10 月 22 日 (土) 13 : 00
- 1 開催場所 東京都新宿区霞ヶ丘町 4-2
Japan Sport Olympic Square 会議室 2
- 1 理事総数 19 名
- 1 出席理事 15 名
武井 壮、青木 雄介、浅井 直樹、飯田 徳光、岡本 純典、釜谷 理恵、
蕭 敬如、菅原 智恵子、須賀 千鶴、辻村 眞一郎、土肥 美智子、
鳥山 聡子、村上 幸生、諸江 克昭、米田 恵美
- 1 出席監事 1 名
中村 規代実

なお、理事及び監事のうちテレビ会議システムによる出席者及び所在地は以下のとおり

理事 飯田徳光 (岐阜県岐阜市)、釜谷理恵 (埼玉県さいたま市)、菅原智恵子 (東京都板橋区)、
須賀千鶴 (東京都港区)、土肥美智子 (東京都文京区)、村上幸生 (大分県大分市)、諸江克
昭 (福井県越前市)、米田恵美 (東京都千代田区)、中村規代実 (東京都目黒区)

【審議事項】

第 1 号議案 2023 年のアジア選手権、世界選手権の代表選考方法 (提案者) 理事 飯田徳光
の変更の件

議長は、上記議案について飯田理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、団体戦についてのプロセスを明記することを条件に賛成多数で承認可決された。審議の経過は以下のとおりである。

質問：団体戦の推薦のプロセスはどのようになるのか。

回答：強化本部からの推薦を選手選考委員会の審議を経て理事会での承認というプロセスになる。これを明記する。

第 2 号議案 事業マーケティング関連規約改訂の件 (提案者) 理事 米田恵美

議長は、上記議案について米田理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決された。審議の経過は以下のとおりである。

質問：各マネジメント会社に個別対応が可能であることを周知するのか。

回答：不都合があれば申し出ていただくことになっており、申し出があった場合に対応を検討する。

第 3 号議案 中期計画・財務・人事計画策定の件 (提案者) 理事 米田恵美

議長は、上記議案について米田理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決された。

第 4 号議案 JOC エリートアカデミー第 16 期生受験者追加の件 (提案者) 理事 青木雄介

議長は、上記議案について青木理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決された。また、今後エリートアカデミーの受験者の選出にあたってのプロセス等を明文化することになった。

第5号議案 2022年11月総会招集の件 (提案者) 理事 浅井直樹
議長は、上記議案について浅井理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決された。審議の経過は以下のとおりである。
質問：ハイブリッド開催に向けた規程の検討はどのような状況か。
回答：次回に社員総会運営規程の改訂案を提示したい。
意見：臨時理事会を開催するのであれば、このときに提示できないのか。
意見：社員総会運営規程の改訂の議案を追加する場合には、臨時理事会に提示する。

第6号議案 2022年8月期(2021年9月-2022年8月)事業報告 (提案者) 理事 浅井直樹
及び決算の件
議長は、上記議案について浅井理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決された。

第7号議案 理事候補者選考の件 (提案者) 理事 辻村眞一郎
議長は、上記議案について辻村理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、理事候補者に今後の方向性を示し、そのうえで再度議案として整理し総会までの間に臨時理事会で審議することになった。なお、今後の方向性については全会一致で承認された。審議の経過は以下のとおりである。
質問：一部の理事候補者から条件が提示されているがこの背景は何か。
回答：次期体制においても一部理事に非常に高い負荷となるおそれがあるが、これを見直す必要があるということである。
意見：組織としての存在意義や組織として何を指すのかの再整理が必要なのではないか。また、事務局の強化が大事ということと理解している。
意見：この場では次の事項を承認することでいかがか。
・事務局人件費及び委託費を最優先に予算をつくる
・事務局予算を確保するために、今後2年間の集中改革期間は、強化も聖域とせず、残り予算の範囲内で執行計画をつくる。
・業務執行役員数は2名に絞り、その他の理事は当面の間、無報酬とする。ただし、事務局業務の肩代わり、支援を行う場合、事務局からの委託費を受け取ることは妨げない。
意見：今後の方向性としてこれが承認された場合には、理事候補者にこのことを伝えることとする。

第8号議案 第30回ジュニアオリンピックカップ大会要項の件 (提案者) 理事 辻村眞一郎
議長は、上記議案について辻村理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決された。

第9号議案 2022年殿堂入り候補者の件 (提案者) 理事 辻村眞一郎
議長は、上記議案について辻村理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決された。

第10号議案 役員責任賠償保険更新の件 (提案者) 理事 浅井直樹
議長は、上記議案について浅井理事より提案があった旨述べ、同理事に説明を求めた。慎重審議の結果、全会一致で承認可決された。

【協議事項】

- 1 代表選考方法及び全日本選手権の代表選考における位置づけに (提案者) 会長 武井壮
についてのご提案

議長は、上記議案について武井会長より提案があり説明した。

質問：今後はどのように議論を進めるのか。

回答：自分からの提案について、アスリート委員、強化本部、選手選考委員会と協議をして今後の方向性を検討したい。

意見：今シーズンは難しいが、来シーズン以降は提案された方向がありうると考える。

意見：協議の日程を調整する。

【報告事項】

- 1 組織基盤構築 (第2回中間報告) (提案者) 理事 米田恵美

- 2 2022年世界ベテランフェンシング選手権大会の報告について (提案者) 理事 村上幸生